

研究開発に係る事務及び事業に関する評定の具体例について(検討案・調整中)

<科学的・技術的観点>

S：他に先駆けて、これまで実現できていなかった

- ・〇〇のメカニズムの解明
- ・〇〇の形成
- ・〇〇の速度や頻度（定量的な把握）による〇〇の実現
- ・〇〇のシミュレーション手法や理論的モデルの確立

などに成功。

この結果、

- ・〇〇の実現、実用化に向けて世界で初めて突破口を開いた。
- ・〇〇の理論基盤の構築に大きく貢献したと世界的に認められる。

などの成果が得られた。

これにより、当該分野で、従前の考え方の延長線上ではとらえられないブレイクスルーをもたらす発展があった。

A：新たな意義のある発見・知見が得られた。

B：成果の創出に向け着実に研究が進展している。

C：一層の工夫、改善が必要。

D：抜本的見直しを含め、特段の工夫、改善が必要。

<社会的・経済的観点>

S：他に先駆けて、これまで実現できていなかった

- ・新たな防災、耐震、安全性等の技術を実現する手法を開発
- ・〇〇技術の実用化のボトルネックとなっていた、〇〇面での困難性を克服する技術を開発
- ・〇〇の精度（定量的な把握）による〇〇の実現

などに成功。

（こうした評価が世界的に権威ある表彰や論文掲載等により得られている）

この結果、

- ・国の技術基準や地域の防災対策に研究結果が反映され、安全水準が大きく向上すると認められた。
- ・初めて〇〇の実用化・ライセンス化・商用化が図られた。

などの成果が得られた。

これにより、当該技術開発の成功が、従前状況から飛躍的な、社会的・経済的に意義のある成果をもたらしたと認められる。

- A：意義のある新たな産業技術の創出に結びついた。
- B：成果の創出に向け着実に研究が進展している。
- C：一層の工夫、改善が必要。
- D：抜本的見直しを含め、特段の工夫、改善が必要。

<国際的観点>

- S：〇〇の速度（定量的な把握）での〇〇の実現という、現段階で世界最高水準の技術を実現した。
- A：世界的にトップレベルの技術水準を達成した。
- B：成果の創出に向け着実に研究が進展している。
- C：一層の工夫、改善が必要。
- D：抜本的見直しを含め、特段の工夫、改善が必要。

<時間的観点>

- S：当初予定より著しく早期に成果が創出された。  
得られた成果が将来の革新的・先進的な技術発展の具体化につながる道筋が見えるものとなっている。
- A：当初予定より早期に成果が創出された。
- B：成果の創出に向け着実に研究が進展している。
- C：一層の工夫、改善が必要。
- D：抜本的見直しを含め、特段の工夫、改善が必要。

<その他、マネジメント等>

- S：長のリーダーシップにより、従来なかった枠組みによる国内外の大学、研究開発法人、民間企業との連携を図り、優れた創造性に富むと認められる研究開発成果の創出に大きく貢献した。  
長のリーダーシップにより、法人における人材育成プログラムを大きく発展させ、国内外の機関で高い評価を得られる人材を多数輩出した。
- A：効果的なマネジメントにより、法人の研究開発成果創出を向上させた。
- B：着実に業務を実施している。
- C：一層の工夫、改善が必要。
- D：抜本的見直しを含め、特段の工夫、改善が必要。

(参考) 中期目標管理法人の評定区分 (年度評価 項目別評定)

- S : 法人の活動により、中期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。  
(定量的指標においては対中期計画値 (又は対年度計画値) の 120%以上で、かつ質的に顕著な成果が得られていると認められる場合)
- A : 法人の活動により、中期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。  
(定量的指標においては対中期計画値 (又は対年度計画値) の 120%以上とする。)
- B : 中期計画における所期の目標を達成していると認められる。  
(定量的指標においては対中期計画値 (又は対年度計画値) の 100%以上 120%未満)
- C : 中期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する。  
(定量的指標においては対中期計画値 (又は対年度計画値) の 80%以上 100%未満)
- D : 中期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める。  
(定量的指標においては対中期計画値 (又は対年度計画値) の 80%未満、又は主務大臣が業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずる必要があると認めた場合)